

冬の季節を彩る
シクラメン展&
ポインセチアの仲間展

●ポインセチアの仲間展
ポインセチアには、定番の赤色はもちろん、朱色やピンク色などカラフルな品種のものや仕立て方もさまざまな形のものがあります。

●シクラメン展
シクラメンの仲間（原種・園芸種）約80種500点を紹介しています。

また、簡単に作ることができ、寄せ植えや壁を利用した作品などの展示、分布や特徴などのパネル紹介もしています。
なお、販売コーナーもありません。（最終日15時から展示品の一部も販売）



期間 いずれも1月17日(日)まで
照会先 箱根芦之湯フラワーセンター ☎83-73350

体験学習
お正月を
楽しむ会



正月の遊びには百人一首、カルタ、すごろくなど、古くから伝承されてきたものがたくさんあります。昔懐かしい遊びをみんなで体験してみませんか。

また、遊びを楽しんだあとは、箱根町女性会連絡協議会の皆さんの協力により、七草がゆの調理実演と試食を行います。七草がゆを食べて、一年の無病息災を願いましょう。

月日 1月5日(火)

時間・場所

○正月遊び
9時30分 郷土資料館学習室
○七草がゆ
11時(調理実演)
11時30分頃(試食)
郷土資料館前駐車場
※時間までに会場にお越しください。

照会先 郷土資料館 ☎85-76601

第56回文化財防火デー

毎年1月26日は「文化財防火デー」です。
昭和24年のこの日、奈良県にある法隆寺金堂の壁画が焼損しました。この事件は、翌25年に文化財保護法が制定される契機になりました。

また、1・2月は、一年の中で最も火災の多い時期に当たることから、昭和30年に文化財防火デーと定められました。
毎年、教育委員会でも町内に残る貴重な文化財を火災や震災などから守るため、防火訓練を行っています。

今年も、国登録文化財である「箱根翠松園」（小涌谷）での訓練を計画しています。

照会先 教育委員会生涯学習課 ☎85-76601



昨年1月に行った訓練の様子(富士屋ホテル)

退職金共済制度加入
奨励補助金の申請を

今回の申請は後期分（7月～12月）ですが、前期分（1月～6月）と一括申請できます。
対象共済制度
・中小企業退職金共済制度
・小田原箱根商工会議所特定退職金共済制度
・箱根温泉観光産業従業員退職金共済制度

補助要件
・町内でも1年以上継続して事業を営むものであること
・町税などの滞納がないこと
補助額（1か月あたり/1人）
・掛金2,000円未満の場合 150円
・掛金2,000円以上の場合 300円
・掛金2,000円以上の場合 300円

申請期間 1月14日(木)～29日(金)
申請方法 観光課または出張所にある申請用紙に必要事項を記入、押印し提出してください。
照会先 観光課 ☎85-7410



公共下水道への
接続のお願い

公共下水道を使用できる区域（供用開始区域）に住んでいる方で、まだ公共下水道に接続していない方は、接続をお願いします。

接続工事は、町が指定している工事店で行ってください。
なお、公共下水道への接続工事に要した費用について、補助金や貸付金の制度があります。

照会先 上下水道温泉課 ☎85-9567

「世界農業センサス」に協力してください
2月1日現在で、全国一斉に「2010年世界農業センサス」が行われます。
農業や林業を行っている農家、林家や法人などが対象となりますので、協力をお願いします。
※世界農業センサスとは、世界各国で行われている農業林業に関する調査です。
照会先 庶務課 ☎85-9561



新型インフルエンザ
対策関連情報

12月21日から次の方の接種が開始されました

○1歳未満の小児の保護者など（優先接種対象者のうち身体上の理由により予防接種ができない方の保護者を含む）
○小学4～6年生に相当する年齢の方

○中学3年生
○高校3年生
※中学3年生、高校3年生については、受験シーズンを迎える、受験を控えていることから、接種開始時期を前倒しして実施することになったものです。そのほかの中学生、高校生については、具体的な接種スケジュールが決定次第お知らせします。

※ワクチンが不足しているため、すぐに接種できないことがあります。
なお、接種を希望する方は、必ずかかりつけ医に電話でお問い合わせください。

16歳未満の方の保護者の同伴
16歳未満の方がワクチンを受けるときは、保護者の同伴が必要です。
しかし、中学生に相当する年

齢の方がワクチンを接種する場合は、保護者が当該ワクチンの接種に係る安全性などを十分に理解し同意することにより、保護者の同伴がなくても接種を受けられることになりました。その場合、所定の用紙が必要になりますので、必ずさくら館にお問い合わせください。

ワクチンの効果

インフルエンザワクチンには、インフルエンザに感染した際に、発症を抑えたり、症状が重くなることや死亡することを予防したりする効果があるとされています。ただし、ワクチンを接種しても、インフルエンザにかかることもあり、また、その効果も完全ではありません。日ごろから感染予防に気をつけることが重要です。

※「感染」とは、インフルエンザウイルスが体内に入ることです。その後、ウイルスが増え、症状が出てきます。これが「発症（発病）」です。感染しても症状が出ないという場合もあります。

ワクチンの安全性

ワクチンの接種がもたらす重症化・死亡の防止効果は、社会的に見て大きなメリットといえ

ます。しかし、ごくまれなケースとして、強い副反応（副作用）を引き起こし、重い後遺症を残すことがあります。多くの人にはメリットをもたらしますが、少数の方においてはデメリットが生じてしまうのです。つまり、ワクチンは100%安全であるとは言えません。

ワクチンの接種に関しては、医師から処方されて飲む薬とは違い、一人ひとりがメリットとデメリットを理解したうえで、判断してください。

ワクチンの優先接種対象者の接種回数(12月16日現在)

対象	回数
1歳～小学3年生に相当する年齢までの方	2回
4年生～6年生までに相当する年齢の方(接種時に13歳になっていない中学1年生に相当する方を含む)	2回
中学生、高校生の年齢に相当する方	1回
妊婦の方	1回
1歳未満の小児の保護者など	1回
基礎疾患を有する方(※)	1回
65歳以上の方	1回

※基礎疾患患者のうち、著しく免疫反応が抑制されている方は、2回でも差し支えありません。

家庭用備蓄食料品リスト

新型インフルエンザの感染を避けるためには、不要不急の外出をしないことが重要です。できる限り長期分（最低2週間分）の食料品を備蓄しましょう。（乳幼児、高齢者、病人などで粉ミルクや医療用食品などが必要となる場合は別途準備してください）

◎備蓄の柱 米10kg以上（もちなども可）
・主食（小麦製品など）
・主菜、副菜（野菜類、豆類、卵、魚介類・肉類・野菜・きのこ類などの缶詰、レトルト食品、冷凍食品（市販品および家庭で冷凍したもの）
・乾燥食品
・汁物（スープ類）
・乳製品
・果物（缶詰）
・調味料
・嗜好飲料
・菓子類
・その他



照会先 さくら館 ☎85-0800

宝くじは豊かさ築く
チカラ持ち。
宝くじの助成金で
購入しました



温泉地域自治会連合会では、地域のコミュニティ活動の充実を図るため、自治総合センターが実施している「コミュニティ助成事業」により、宝くじの助成金を受けて、つじ祭りや親子ふれあい納涼祭など、地域住民の親睦を深めるイベントに参加者が着用する法被、その際に使用する新しいテントなどの備品を購入しました。

今回の整備により、地域のさらなる活性化が期待されます。
照会先 企画課 ☎85-9560

